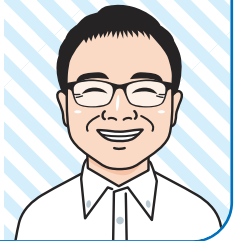


みんなで取り組む防災・減災

ねっちゃんのお防災知恵袋

津波フラッグを見たらすぐ逃げて！



こんにちは、ねっちゃんです。暑くなりましたね。これから海のレジャーを楽しみにしている方も多いのではないのでしょうか。

ただ、海の近くに行くときこそ考えておきたいのが、「津波」です。

◆「津波フラッグ」を知っていますか
「津波フラッグ」は、大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことを知らせる旗のことです。

令和2年6月から、海水浴場などで津波フラッグを使って、視覚的伝達が行われています。聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報などの発表を「見える形」で知らせることが出来ます。海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見たら、速やかに避難を開始しましょう。



本市では、毎年サーファーや観光客を対象に、津波フラッグを用いた津波避難訓練を行っています。



▲津波フラッグを用いた避難訓練の様子

津波フラッグは避難の合図

いつ使われる？	どこで使われる？	見かけたら？
津波警報などの発表時 ※大津波警報・津波警報・津波注意報	海水浴場など 津波や風で音が聞き取りづらいため、高で視覚的に伝達	高いところへにげて！ すぐに海から離れ、高台や津波避難タワーなどへ避難を

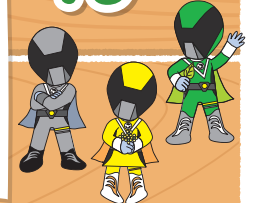
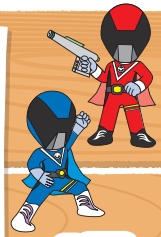
※津波警報、津波注意報、津波注意報



◀気象庁HP
津波フラッグの詳細はこちら

環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん



減らそうプラスチックごみ

プラスチックは軽く丈夫で、便利な素材として身の回りで広く使われています。しかし、ポイ捨てや屋外で放置されたプラスチックは、雨や風的作用で河川から海に流れ込み、海を汚染しています。

●海洋プラスチックがもたらす生態系への影響

海洋プラスチックごみ問題は深刻化しています。海の生物がプラスチックをエサと間違えて食べたり、体に絡まって死んでしまうという事例が報告されています。

また、漂流するプラスチック片は、海中の有害な物質を吸着し、魚などの海の生



物が誤って食べ、その魚を人が食べることで、最終的に人が有害物質を摂取してしまう可能性が指摘されています。

●一人ひとりができること

三方を海に囲まれた本市でも、海洋プラスチックごみは身近な問題です。我が事として捉え、できることから実践しましょう。

①マイバック・マイボトルなどを積極的に利用し、プラスチック製品の使用を減らす。

②地域のルールに沿って分別して捨てる。

③ポイ捨てや不法投棄は絶対にしない。



▼廃棄物対策課 23-353300